

執筆者紹介

つちや まきあき
土屋 昌明 本学経済学部教授

きじい りょうじ
藤井 亮二 本研究所所外研究員

〈編集後記〉

「専修大学社会科学研究所月報」2016年2月(632号)は、本学経済学部教授であり所員の土屋昌明氏による「胡傑・艾曉明監督『紅色美術』のインタビュー資料及びその分析」と本研究所所外研究員である藤井亮二氏による「国庫補助金等により造成された基金の特徴と課題」を掲載している。

前論文では、胡傑、艾曉明という2監督の合作によるドキュメンタリー『紅色美術』(別名『文革宣伝画』)に採録されたインタビュー資料を翻訳することから始め、その特徴に対して検討を加えた論文である。特に胡傑氏に関しては、同執筆者は本月報でもかつて公表され、研究の深まりを感じられる。

また後論文は、毎年の予算審議の際、国庫補助金等で造成された基金について質問されることが多いが、この基金については一旦造成されると毎年国会の議決を経ることなく複数年度での支出が可能となり、またその規模も数兆円に達することもあるようである。この状況をかつて氏が執筆された「基金制度の沿革と課題(2)『立法と調査』参議院常任委員会調査室・特別調査室(2015.8) no.367」を大幅に加筆・修正の上、国庫補助金等により造成された基金についての現況とその特徴や課題を取り上げている。

両論文の内容については、編集後記執筆者の私は全くの門外漢ではあるが、当該分野の研究者にとっては、研究の一助、あるいは深みを増す論文であることは、それぞれの論文の「おわりに」や「結語」からも十分に伝わってくるものである。

(K.I.)

2016年2月20日発行

神奈川県川崎市多摩区東三田2丁目1番1号 電話 (044)911-1089

専修大学社会科学研究所

The Institute for Social Science, Senshu University, Tokyo/Kawasaki, Japan

(発行者) 村上俊介

製作 佐藤印刷株式会社

東京都渋谷区神宮前2-10-2 電話 (03)3404-2561
